



角地のベンチから駅前交通広場全体を見る



旧駅舎の存在した場所から駅前交通広場を見る



旧駅舎より駅前交通広場を見る



歩道から新駅舎を見る

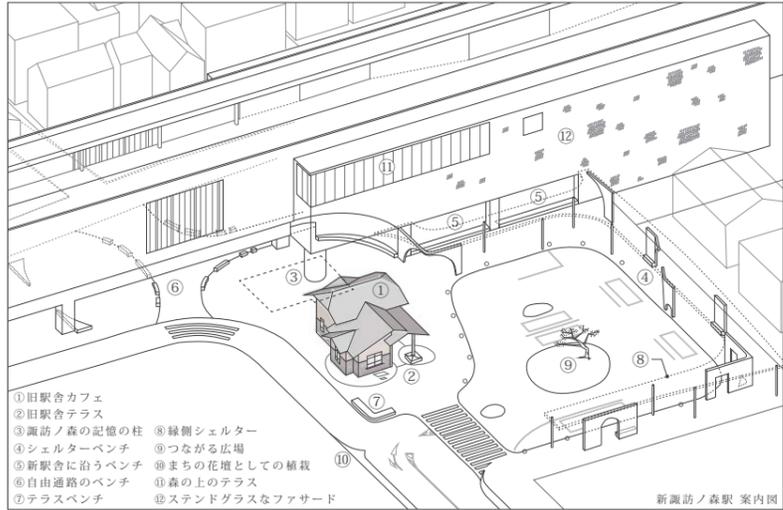
みんなの記憶、「諏訪ノ森の大きな木」

諏訪ノ森の人々に利用され、記憶に刻み込まれた旧駅舎を「諏訪ノ森の大きな木」としてとらえ大きな木を中心に人々が憩える空間を配置する計画とします。旧駅舎は今までの記憶とまちの将来をつなげる中心的な装置として人々とともに、これからの諏訪ノ森を見守っていきます。

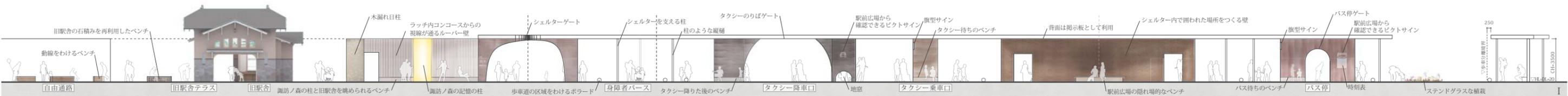
I-a. 人々が憩う「諏訪ノ森の大きな木」の三つの要素

「諏訪ノ森の大きな木」を中心とした駅前空間は、記憶機能・交流機能・交通機能の三つの要素が相互に関係しています。三つの要素が連携することで、駅前空間がより利用者にとって公園のような居心地のよい空間に生まれ変わります。

- **記憶機能** 旧駅舎を曳家して、歴史的遺産として保存するとともに、旧駅舎が在った場所にその痕跡を残します。また旧駅舎にはまちカフェを導入して、誰でも気軽に利用できる施設とします。これらのベンチやカフェにより、駅前広場での人々の自然な交流が生まれ、その結果、駅前広場は人々が安らぐ公園のような雰囲気があるれます。
- **交流機能** 駅前広場には旧駅舎、新駅舎や街並みを見渡すために様々な機能をもったベンチを配置します。また旧駅舎にはまちカフェを導入して、誰でも気軽に利用できる施設とします。これらのベンチやカフェにより、駅前広場での人々の自然な交流が生まれ、その結果、駅前広場は人々が安らぐ公園のような雰囲気があるれます。
- **交通機能** 駅前交通広場、駅前線は交通機能を満たすため、道路構造令を適用した車両動線を確保するとともに、安全に配慮した歩道を計画します。また、新駅舎の改札を出たのち、各交通機能の乗り場がどこにあるかが視覚的に分かる機能をもった壁と的確なサインを一体的に配置します。壁はシェルターの構造としての機能も持ち合わせています。シェルターは雨風や直射しから利用者を守るやさしい空間を創り出します。



旧駅舎から始まり街に続く駅前広場の物語



I-b. 未来へつながる旧諏訪ノ森駅舎：交流機能と記憶機能

旧駅舎を人々の記憶にとどめるとともに、活動の交流拠点とするため、まちカフェとしての機能を入れ込み、市民が気軽に利用できる場所として活用します。新たな機能をもった旧駅舎は新駅舎から降りてきた人達に向かって正面を開き人々を迎え入れるとともに、駅前広場側にはテラスを設けて新駅舎へのアクセスをスムーズにします。また、交通広場内での無理な横断を防止し、歩行者にとって利用しやすい歩行者動線を確保するため、交通広場出入口に横断歩道を設け安全に歩行者を誘導するとともに駅前交通広場の回遊性を高める計画とします。



**諏訪ノ森の記憶の柱**  
旧駅舎の存在した場所に、諏訪ノ森が歩んできたまちの歴史を表現します。アナモルフォシスのデザインを床仕上げに用いて「記憶の柱」に画像や文字を映し出します。

**旧駅舎カフェ**  
券売機が置かれていた箇所を接客カウンターに、路線図の隣にメニュー表を設置します。最大限に旧駅舎の部位を保存したインテリアとします。

**旧駅舎テラス**  
移設した旧駅舎のホーム上部分には外部の植栽が入り込む空間とし、同じく旧ホームから移設した石積みを床に敷き並べます。これにより空間は駅前広場のテラスのような存在になります。

I-c. 安心して利用できる駅前交通広場・駅前線：交通機能

駅前交通広場の機能として駅直近に身障者バス、次にタクシー乗降場、バスバースの順に各車両の軌跡が車道内に納まるよう検証の上計画しました。さらに各バースから駅まで雨風を避けられるようにシェルターを設けて新駅舎へのアクセスをスムーズにします。また、交通広場内での無理な横断を防止し、歩行者にとって利用しやすい歩行者動線を確保するため、交通広場出入口に横断歩道を設け安全に歩行者を誘導するとともに駅前交通広場の回遊性を高める計画とします。



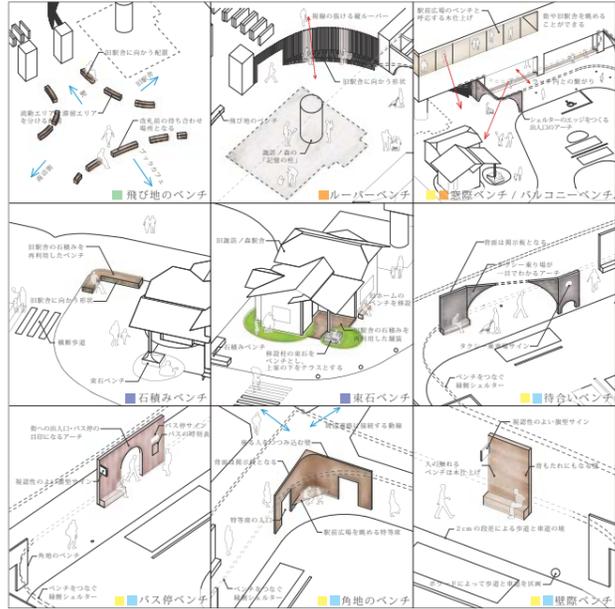
I-e. フレキシブルな駅前交通広場：交通機能と交流機能

駅前交通広場はまちのイベントなどの「ハレ」の場に対応できるように歩道と車道の段差を20mmにし、ポラードにより歩道と車道を区画します。イベント時には通行車両を遮断してイベントに対応できるように、広場がより有効活用できる仕組みを計画します。



I-d. 人が集い、人をつなげる広場のベンチたち：交流機能と交通機能

様々なかたちをしたベンチを駅前交通広場に取り囲むように配置します。このベンチに人が集うことで、車両だけが点在する殺伐とした風景になりがちな駅前交通広場が、人と人がつながる潤いのある空間になります。広場を取り囲んで配置したベンチと駅前交通広場の回遊性が絡まることによる人のつながりがさらなる相乗効果を生み、「諏訪ノ森の大きな木」へと成長します。



I-f. まちの花壇としての植栽：交流機能

歩道に計画する緑化ブロック内には、まちの人々が主体になり、四季折々の植栽が感じられる花壇を配置することを提案します。人々が関わり続ける仕組みをワークショップによって住民の方と作り上げていきます。

I-g. 駅前交通広場の照明計画：交通機能

駅前交通広場の照明は新駅舎の照明計画を引き立たせる、やわらかな光で構成します。シェルターと一体になった壁とサインが行燈のような灯りだまりによって駅前交通広場を照らします。



旧駅舎・既存商店街を含めて、まちと一体となった、賑わい溢れる自由通路



暖かみある柱、演出性のある天井によって変化を楽しむことが出来るラチ内コンコース



スタンドガラスと「いるどりの壁」を楽しむM2階

木素材によりゆったれとまちを一望できる「森の上のテラス」

### II-a. まちに自在に対応し、賑わいを生む自由通路

まちの東西をつなぐ自由通路には通行機能だけでなく、**人々が集い利用する機能**を持ち合わせます。自由通路には日常とイベント時では利用者の動線を静と動にわけるための仕組みを計画します。

#### 「可動可能なベンチと仕上げの変化による動線の誘導」

可動可能なベンチにより、イベント時には通行エリアと滞留エリアの空間を分けます。また通路の仕上げに一部変化をもたせ、**可動ベンチとともに利用者の動線を誘導**します。

可動ベンチと組み合わせることにより、イベント時や週末には**「大きな木」を中心に駅東の商店街まで延びる溜まり空間をつくり、まちとまちを繋ぐ空間に変化させます。**例えばまちの朝市やフリーマーケット等がこの空間で行われることにより、まちの賑わいがこの空間から生まれます。

### II-b. 記憶を継承しつつ、新たなまちの空間へ

旧駅舎に設置されていたスタンドガラスは諏訪ノ森駅舎の特徴的な部分であり、このスタンドガラスをモチーフとしたデザインを新駅舎のデザインに取り込みます。松、砂浜、海のイメージを抽象化したデザインを新駅舎の外壁に適用することにより、**旧駅舎のデザインの記憶が継承しつつ、新旧が融合された、まちの中心に位置する新駅舎に生まれ変わります。**

外壁にはスタンドガラスのイメージをちりばめたデザインのPC版を取付けます。PC版の各所に配置された開口部から日中は駅空間に色鮮やかな太陽光が入り込み、新駅舎利用者の目を楽しませます。また、夜には駅からの様々な色の光が外に漏れだすことにより、駅前広場空間にいることが楽しくなるような照明計画を行います。



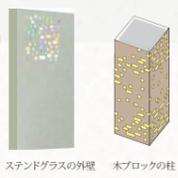
諏訪神社



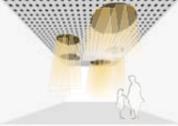
旧駅舎のスタンドガラスとシャンデリア

### II-c. 駅舎を演出する要素と素材

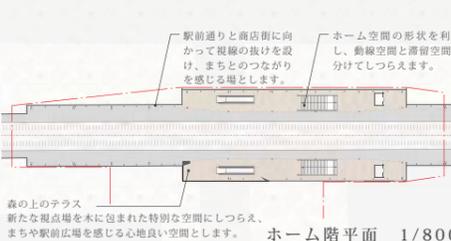
ラチ内コンコースの柱は、木々の隙間からもれる**木漏れ口をイメージした**仕上げで構成します。また自由通路からつながるラチ内の天井仕上げは有孔のアルミ複合版で構成し、ところどころにある、折り上げ天井部分からは時間帯により変化する照明を計画します。自由通路空間とラチ内空間は時間帯によって変化する照明により、駅利用者や通行者にとって魅力的な空間が生まれます。



スタンドガラスの外壁 木ブロックの柱



木漏れ口の天井



ホーム階平面 1/800

### II-d. 駅を特徴づける3つの空間

①**すわのり美術館**  
階段回りのスペースを利用し、地域住民の作品を展示します。作品を通した住民同士のコミュニケーションを促します。



日光駅(当社事例)

②**いるどりの壁**  
M2Fの階段横の壁面を利用して、住民参加型の壁面を作り出す。住民と共に新駅舎をつくることで、愛着のある駅を目指します。



東河江駅(当社事例)

③**森の上のテラス**  
ホーム空間の一部に旧駅舎・駅前広場を望むことができる森の上のテラスを設置し、まちの活動の様子を感じることが出来ます。



日立駅(当社事例)

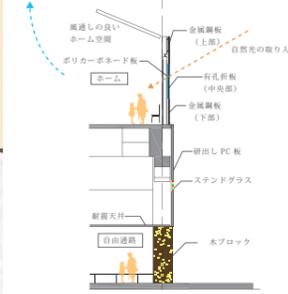
### II-e. 新しいまちの顔となる新駅舎の特徴

旧駅舎のスタンドガラスで使われていた色彩を抽出し、**新駅舎のファサードに刻み出す**。外壁にはめ込まれたスタンドガラスの開口から外光を取り入れ、内部空間を演出します。また、外壁の一部には線路に利用されているパネルを仕上げを用いる計画とします。ホーム外壁の一部は有孔折板とし、まちに緩やかに視線が抜ける部分を計画するとともに、自由通路上部は東西をつなぐ開放的な視線を確保するための大きな開口を計画します。



### II-f. 居心地の良いホーム空間

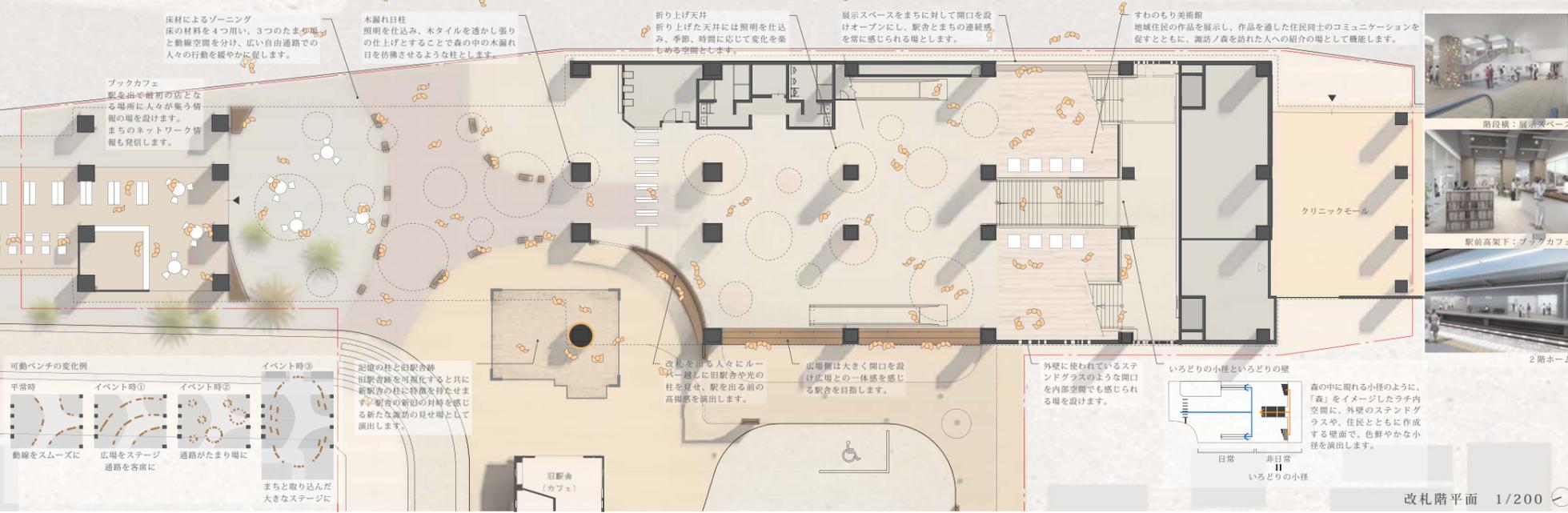
防風壁は波型折板と波型有孔折板を組み合わせて、**有孔折板の裏側にはポリカーボネートを組み込み、雨・風対策を行います。**



### II-g. コストに配慮した計画

新駅舎を構成する様々な仕上げはユニットで構成した、現場での取付けを主としたものとし、**安全・品質の確保を行いながらもデザインを実現できる建材を的確に選定**します。また、豊富な施工計画実績をもとにした実現性の高い施工計画を行うことにより、工期短縮や建設費の削減を設計と並行しながら進めています。

部位	名称	面積 (㎡)	単価 (万円/㎡)	金額 (百万円)		備考
				単価	金額	
新駅舎 外壁	防風スクリーン	1,350	3.5	47	-	防風スクリーン
	柱	1,350	7.5	101	-	研出仕上げ板、準一階ウエスト使用
	柱	400	11	44	-	駅舎外壁使用
	その他	1,350	2.5	34	-	新駅舎 演出照明
	森の上テラス	435	15	65	-	新駅舎 森の上テラス屋根、準折板
	ホーム屋根	780	10	78	-	新駅舎 ホーム屋根、準折板
	駅舎外壁	510	5	26	-	新駅舎 駅舎外壁
	駅舎外壁	510	5	26	-	新駅舎 高層部分外壁
	内装	720	20	144	-	床・壁・天井・柱・仕切り
	その他	125	20	25	-	床・壁・天井・柱・仕切り
旧駅舎 内装	天井	3,40	17	58	-	床・天井
	その他	-	-	11	-	自由通路のベンチ等
	小計	-	-	149	199	-
	改札	630	2	13	-	仕上げ、廊下、壁紙、ボラード等含む
駅前交通広場・駅前広場	改札	350	2.5	9	-	仕上げ、廊下、壁紙、ボラード等含む
	その他	-	-	5	-	-
	小計	-	-	14	14	-
駅前交通広場	改札	1,450	2	29	-	仕上げ、廊下、壁紙、ボラード等含む
	その他	1,050	2.5	26	-	仕上げ、廊下、壁紙、ボラード等含む
	小計	2,500	20	60	-	仕上げ、廊下、壁紙、ボラード等含む
駅前広場	改札	300	20	60	-	仕上げ、廊下、壁紙、ボラード等含む
	その他	-	-	15	-	-
小計	-	-	75	167	-	-
合計	-	-	-	656	199	-



改札階平面 1/200



旧駅舎



旧駅舎